

平成26年度第2回経営協議会議事要録

- 1 日 時 平成26年6月30日(月) 14:15～16:15
- 2 場 所 ホテルアソシア豊橋 5階「チェリールーム」
- 3 出席者 議長 学長
小畑委員，合田委員，佐原委員，古野委員，武藤委員，吉川委員，大貝委員，井上委員，鈴木委員，寺嶋委員
*井上委員は，他用務のため14:55から出席
- 4 列席者 水谷監事，神野特別顧問

5 議 題

[審議事項]

- (1) 平成25事業年度決算について
- (2) 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)等について
- (3) 業務方法書の変更について
- (4) 平成27年度概算要求について

[報告事項]

- (1) 経営協議会における意見等の大学運営等への活用状況等について
- (2) 年俸制について
- (3) 機能強化に向けたグローバル教育の戦略について

[その他事項]

- (1) 豊橋技術科学大学関係新聞記事について

6 議 事

議事に先立ち，平成26年度第1回議事要録(案)について，原案どおり確認された。

[審議事項]

- (1) 平成25事業年度決算について

鈴木理事・事務局長及び水谷監事から，資料「審議1」に基づき，平成25事業年度の決算状況及び当該事業年度における監査結果について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認され，6月末日までに財務諸表等を文部科学大臣に提出することが確認された。

なお，文言等の軽易な修正等があった場合の取扱いについては学長に一任願う旨説明があり，併せて承認された。

主な説明内容は次のとおり。

- ・会計監査人監査の結果，財務諸表等は適正であった。
- ・監事監査の結果，公表される事業報告書及び財務諸表等は適正であり，職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められない。また，会計監査人の監査方法及び結果は相当であると認めること及び指摘すべき後発事象はない。

- (2) 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)等について

寺嶋副学長から，資料「審議2」に基づき，平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)等について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認され，6月末日までに平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書を国立大学法人評価委員会に提出することが確認された。

なお，文言等の軽易な修正等があった場合の取扱いについては学長に一任願う旨説明があり，併せて承認された。

(3) 業務方法書の変更について

鈴木理事・事務局長から、資料「審議3」に基づき、国立大学法人豊橋技術科学大学業務方法書の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、7月1日までに文部科学大臣に認可申請することが確認された。

(4) 平成27年度概算要求について

学長及び鈴木理事・事務局長から、資料「審議4」に基づき、文部科学大臣に要求予定の平成27年度概算要求の事業及び概要について説明があり、審議の結果、要求事項の精査、絞り込み及び文部科学省への要求書提出等について、学長に一任することが承認された。

また、施設整備費補助金に係る要求書については、6月18日付けで文部科学省へ提出した旨報告があり、併せて、特別経費（国立大学機能強化分）については、本学の強みであるセンシング技術を核として、リサーチセンターを絡めた組織再編が見える形での要求を行うことで引き続き検討を進める旨、説明があった。

主な意見は次のとおり。（意見に対する回答含む。）

- ・特別経費（国立大学機能強化分）に係る要求予定事項は非常に興味深く、素晴らしいものであるため、産学官連携の一環として是非獲得していただきたい。
- ・特別経費（国立大学機能強化分）に係る要求予定事項は、研究大学強化促進事業においても掲げている「豊かな社会の実現」に通ずるものでもあるため、より一層の充実を図っていきたい。
- ・大学院教育にも寄与する点、人材育成をより強くするという点について、もう少し強調した方が良いのではないか。
- ・政府としてもイノベーションに力をいれているので、大学組織全体としての取組を強化し、各機関との連携を密にしていきたい。

なお、文部科学省から財務省に概算要求される事項等について、次回の経営協議会にて報告予定である旨、併せて説明があった。

[報告事項]

(1) 経営協議会における意見等の大学運営等への活用状況等について

学長から、資料「報告1」に基づき、経営協議会の意見等の大学運営等への活用状況について、報告があった。

なお、本学公式ホームページによる活用状況の公開について、平成24年度までの活用状況に加え、平成25年度分を追加して公開する旨、併せて説明があった。

(2) 年俸制について

学長及び鈴木理事・事務局長から、資料「報告2」に基づき、年俸制導入のこれまでの経緯及び検討状況並びに本学における年俸制の考え方等について説明があり、引き続き、年俸制導入について検討を進めていく旨、報告があった。

主な説明内容は次のとおり。

- ・年俸制移行者が不利にならない制度設計、かつ、本学が不利にならない制度設計を行う。
- ・年俸制の導入によって流動性が失われないように、相当数の大学が導入すること等を確認の上制度を導入する。

(3) 機能強化に向けたグローバル教育の戦略について

井上理事・副学長から、資料「報告3」に基づき、本学の機能強化に向けたグローバル教育の戦略として、前回の経営協議会での意見を踏まえた「平成26年度スーパーグローバ

ル大学創成支援プログラム」の申請内容について、報告があった。

主な意見は次のとおり。（意見に対する回答含む。）

- ・スーパーグローバル大学創成支援プログラムへの申請内容にある、本プログラム内で目指す人材像及び養成する能力はとても大事なことであるので、実現に向けて是非頑張っていたきたい。
- ・語学教育を体系的に実施するために、教員への英語研修の充実化を図り、しっかりと体制を整えていきたい。
- ・グローバル教育の考え方については、本プログラムの採否に関わらず引き続き検討していきたい。

[その他事項]

(1) 豊橋技術科学大学関係新聞記事について

学長から、資料「参考」に基づき、平成26年5月15日から平成26年6月25日までの本学関係新聞記事について、報告があった。

以 上